

除菌型洗淨剤

ジヨキンメイト®

品番JM-20

濃縮タイプ

粉末

汚れに対してパワフルな洗淨力と脱脂力を発揮

地球と人に優しい安全な次世代洗淨剤



■現在の洗淨作業が大変な方へ

■洗淨効果を上げたい方へ

■除菌を目的とする方へ

■安全に使用したい方へ



環境産業

Fieldscience

除菌力、洗浄力に優れたジョキンメイト®が 効果・経済性(コスト削減)を生み出します。

原料・安全性

微生物分解性の原料を使用した洗浄剤です。

ジョキンメイトに含まれる有効成分は、炭酸塩、過炭酸塩、グルコン酸塩、有機キレート剤、植物性消臭カプセル、ヤシから抽出した天然脂肪酸（非イオン系界面活性剤）です。毒性が高いといわれる界面活性剤ABS、LAS、AOS等は使用していません。

■安全性試験

試験項目	試験結果	試験方法
生分解度試験	・ 7日後=40%以上 ・ 28日後=90%以上	OECD化学品ガイドライン試験に準拠
急性経口毒性試験 (限度試験)	・ 20ml/kg以上(1%濃度) ・ 最高容量で死亡例は認められず異常なし	OECD化学物質毒性試験指針に準拠

(分析機関:財団法人日本食品分析センター)

「ジョキンメイト」が含有しない物質

- 有害物質(グリコール、メチル、ケトン類、アクリル類)
- 腐食性物質・メタ珪酸ナトリウム、燐酸塩類
- 塩素系溶剤・シリコン、アセトン
- 揮発性の有機化合物

■毒性試験

試験項目	試験結果	試験方法
ヒ素	検出せず	JIS K 3362
重金属	検出せず	JIS K 3362
全リン酸塩	検出せず	JIS K 3362
蛍光増白剤	検出せず	JIS K 3362

効果と特徴

強い洗浄力だけでなく、そこには「ジョキンメイトのメカニズム」が生む数多くの長所があります。

●こんな汚れに効果大

油脂系(グリストラップ、動物性、植物性、鉱物油)
タンパク質(血液、污垢)
菌糸類(カビ)、細菌

●JIS K 3370指標洗浄剤の2倍の洗浄力

●洗浄と除菌が同時にできる

●低発泡性(作業効率向上、節水)

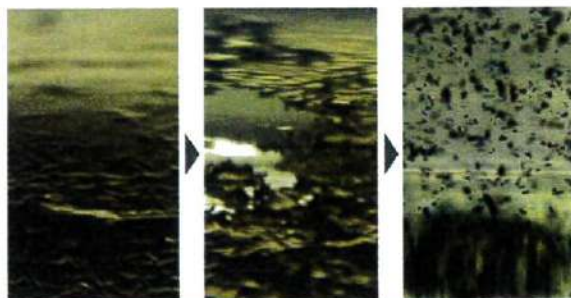
●洗浄液の繰り返し使用が可能(コストダウン)

■ジョキンメイト殺菌効力試験

試験菌名	測定菌数			
	初発菌数	開始直後	30分後	60分後
一般細菌	2.8×10^9	0	0	0
大腸菌	1.5×10^8	0	0	0
黄色ブドウ球菌	1.4×10^9	0	0	0
サルモネラ菌	5.3×10^8	0	0	0
	初発菌数	5分後	30分後	
レジオネラ属菌	1.2×10^6	<10未満	<10未満	

※<10未満:検出限界以下

(分析機関:財団法人日本環境衛生センター)



洗浄物から污垢を分離させ剥がす

[除菌洗浄メカニズム]

溶解性洗剤は、溶解効率が低下すると再付着性が強いのに比べ、ジョキンメイトの剥離作用は酸素の力で汚れを洗浄物より分離させ包み込むことで再付着を防ぐことができます。また、洗浄後の沈殿物を除去することで再利用を可能とし、節水、節剤とともに環境排水の問題も軽減します。使用済みのジョキンメイト洗浄液を排水管に流すことにより、二次効果として排水管内のヘドロ等も剥離して清掃され、悪臭も除去されます。

さまざまな分野で活躍しています。

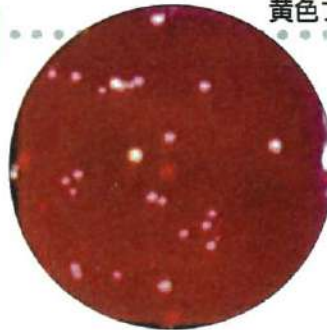
医療業界

医療現場での寝具(マットカバー)や白衣(血液の付着)、医療器具、食器類等使い捨てができない備品を衛生的に保つための「院内感染予防対策」として

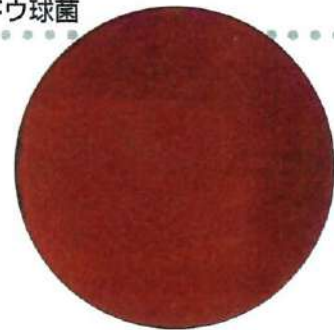
- 院内清掃除菌
- 衛生器具の除菌
手術器具(メス・針・チューブ等)
- リネン類の除菌洗浄
(寝具、シーツ・ベッドマット)
- 血液付着の除去

寝具
付着菌

黄色ブドウ球菌



洗浄前



洗浄後

食品業界

毎日使う食器類や厨房機器等のしつこい油汚れに、また食品生産工場のライン洗浄除菌に「衛生管理」として



ラインの清掃



厨房館内の清掃

- 強力な脱脂洗浄と優れた除菌力
まな板・包丁→食中毒対策
(自動食器洗浄機にも使えます)
- 食品衛生管理
(ラインの洗浄除菌)
- さまざまな用途に使用可能
(多種類の洗浄剤を1本に絞ることが可能)

ビルメンテナンス業界

ハウスクリーニング、ビル、マンション、オフィス等の「環境衛生」として

- 作業性アップ(時間の短縮)
(マット・じゅうたんの染み込んだ汚れに)
- 大幅なコストダウン
- 負荷の多い洗浄剤より、
人にも環境にも優しい洗浄剤
- グリストラップ
(こびりついた油汚れに)



洗浄前



洗浄後

詳しくはお問合せください。

■使用例

医療業界	食品業界	ビルメンテナンス業界	1000倍	500倍	—	200倍	100倍	—	50倍
			0.1%	0.12%	0.3%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%
●血液付着の除去 (リネン・器具類)	●油污れの食器具								
	●作業着の洗濯								
		●車の手洗い洗車 (WAX・水垢除去)							
	●床壁面の清掃 (カーペット・フローリング・Pタイル)								
●院内清掃	●厨房調理器具	●外壁塗装前の洗浄							
●院内清掃 (付着菌の除去)	●グリスフィルター ●グリストラップ	●機械部品 (油污れ・タールの除去)							

汚れの基準:

一般的な軽い汚れ

中程度の汚れ

強度の汚れ

※作業現場の目的に合わせてのご使用をお勧めいたします。

※油脂成分性の汚れはジョキンメイトで洗浄することにより洗浄物への再付着がしにくくなり、そのため使用濃度を下げていくことが可能です。

除菌型洗浄剤ジョキンメイト

◆業務用



品名: ジョキンメイト (5kg袋×4)

◆ボトルタイプ



品名: ジョキンメイト (1kgボトル×6)

付属: 計量スプーン

【成分】炭酸塩、過炭酸塩、グルコン酸塩、有機キレート剤、植物性消臭カプセル、ヤシから抽出した天然脂肪酸(非イオン系界面活性剤) 【外觀】白色粉末

【使用用途】

各種タンク・配管・機械・工場内及び器具類、リネン類の洗浄除菌

【使用適用濃度範囲】

0.1～2.0%

【保管及び取扱上の注意】

●本品は業務用アルカリ性洗浄剤です。●目に入った時は、こすらずに直ちに流水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けて下さい。●飲み込んだ場合は直ちに水で口をすすぎ、多量の水が牛乳を飲ませ、無理に吐き出させないで医師の診察を受けて下さい。●用途以外に使用しないで下さい。(綿・羊毛・動物性繊維製品には適しません。●アルミニウム・銅・銀は漬け込み洗浄により変色する恐れがありますのでご注意ください。●コーティング加工及び吹き付け塗装箇所は、稀に加工及び塗装が取れる恐れがありますので剥がれないことを確認してからご使用下さい。●塩素系洗剤と混合して使用しないで下さい。●使用の際は製品ラベル及び製品安全データシートに基づいて使用して下さい。●本品を予めお湯で溶かしてからのご使用がより効果的です。●溶解水での生分解性は28日間です。

【製造元】

環境産業
株式会社 フィルドサイエンス

【本社・工場】

〒800-0113 北九州市門司区新門司北2丁目2-9
TEL.093-483-3777 FAX.093-483-3772

お問い合わせ先(販売店)

〒570-0032
大阪府守口市菊水通2丁目4番16号
株式会社 フルテック
TEL 06-6992-7115
FAX 06-6992-7116

洗浄液の作り方

作り置きの方

ペットボトル(2ℓ)を使います。

強度の汚れ用(原液です)



中度の汚れ用



軽度の汚れ用



※ヤケドにご注意ください。熱湯で溶かす必要はありません。

スプレーの作り方



強度の汚れ用(原液)



中度の汚れ用



軽度の汚れ用



便利な作り方

強度の汚れ用




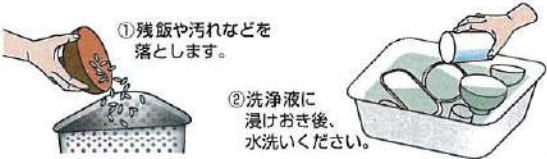
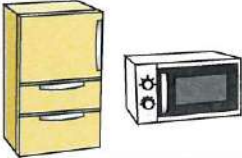
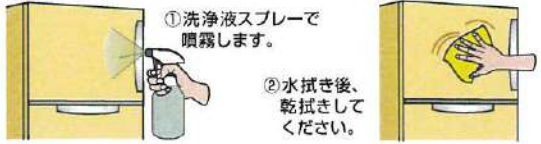



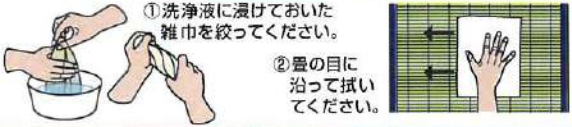

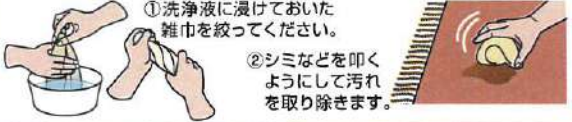

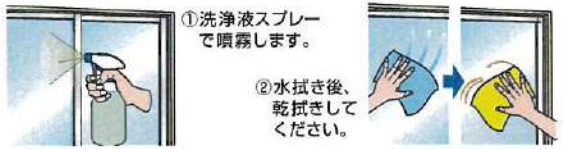

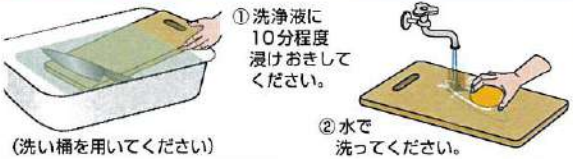



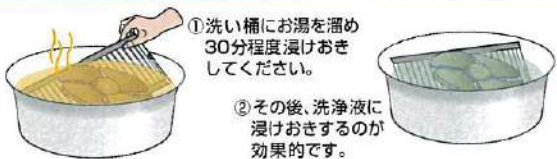
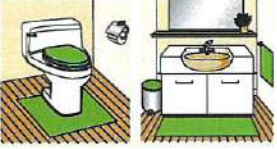

中度の汚れ用



軽度の汚れ用



ご家庭での使い方

洗浄物	使用濃度	清掃方法	
	食器類	 <p>①残飯や汚れなどを落とします。</p> <p>②洗浄液に浸けおき後、水洗いください。</p>	
	冷蔵庫 電子レンジ	 <p>①洗浄液スプレーで噴霧します。</p> <p>②水拭き後、乾拭きしてください。</p>	
	フローリング	軽度の 汚れ用	 <p>①洗浄液スプレーで噴霧します。</p> <p>②水拭き後、乾拭きしてください。</p>
	畳		 <p>①洗浄液に浸けておいた雑巾を絞ってください。</p> <p>②畳の目に沿って拭いてください。</p>
	じゅうたん		 <p>①洗浄液に浸けておいた雑巾を絞ってください。</p> <p>②シミなどを叩くようにして汚れを取り除きます。</p>
	窓ガラス 鏡	 <p>①洗浄液スプレーで噴霧します。</p> <p>②水拭き後、乾拭きしてください。</p>	
	調理器具 (まな板など)	中度の 汚れ用	 <p>①洗浄液に10分程度浸けおきしてください。</p> <p>②水で洗ってください。</p> <p>(洗い桶を用いてください)</p>
	自動車の洗車 (水垢・WAX除去)		 <p>①バケツ等に洗浄液を作りませす。</p> <p>②洗浄液を含ませたスポンジで全体を洗ってください。</p> <p>③洗浄液を水で洗い流してください。</p>
	換気扇 ガスレンジ グリスフィルター	強度の 汚れ用	 <p>①洗い桶にお湯を溜め30分程度浸けおきしてください。</p> <p>②その後、洗浄液に浸けおきするのが効果的です。</p>
	お風呂 トイレ 洗面台		 <p>①洗浄液スプレーで噴霧します。</p> <p>②数分放置し、スポンジ等で擦ってください。</p> <p>③水拭き後、乾拭きしてください。</p>

REPORT

除菌洗淨剤 ジョキンメイト

◆ 試験各種

洗淨評価試験
殺菌効力試験
含有量試験
毒性試験
生分解度試験

特徴・原料

「ジョキンメイト」は、環境によりやさしい原料を使用し、安心してご使用いただける除菌型洗淨剤です。

ジョキンメイト組成成分

炭酸塩・過炭酸塩・グルコン酸塩・有機キレート剤・
植物性消臭カプセル・天然脂肪酸

洗浄力試験

◆ 洗浄力の評価基準として使用される JIS K 3370 を用いた洗浄試験

分析試験成績書 2021年(平成33年)06月12日

依頼者 株式会社 フィールドサイエンス
 依頼者 表 No. 210408

日本食品分析センター
 東京本部 〒114-8501 東京都葛飾区新小岩1-15-1
 大阪本部 〒544-0821 大阪府大阪市淀川区白旗1-12
 名古屋本部 〒466-0801 愛知県守山区大塚1-1-13
 九州本部 〒812-0034 福岡県博多区下渡辺町1-12-12
 多摩研究所 〒206-8522 東京都多摩市山崎1-11-13

2021年(平成33年)05月10日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	分析方法
岩所用合成洗剤 洗浄力	指標洗剤と同等級以上かつ 検体の平均値+4.0		1 2	

注1. JIS K 3370:1993に準じた。
 注2. 依頼者指定の方法で検体を準備し、標準使用濃度(1%/100cc)で試験した。

評価結果

組合せ		判定者 1	判定者 2	判定者 3
指標洗剤	供試洗剤			
B ₁	A ₁	+2	+2	+2
B ₂	A ₁	+2	+2	+2
B ₃	A ₁	+2	+2	+2
B ₁	A ₂	+2	+2	+2
B ₂	A ₂	+2	+2	+2
B ₃	A ₂	+2	+2	+2
B ₁	A ₃	+2	+2	+2
B ₂	A ₃	+2	+2	+2
B ₃	A ₃	+2	+2	+2

A_{1, 2, 3}: 指標洗剤によって繰返し実験を行なったそれぞれのモデル汚れ
 B_{1, 2, 3}: 供試洗剤によって繰返し実験を行なったそれぞれのモデル汚れ

※ 検体名欄に印刷する場合はセンターの承認を仰ぐ必要があります。
 ©2021 日本食品分析センター

評価区分

明らかに濃い場合 (明らかに劣る場合)	-2
やや濃い場合 (やや劣る場合)	-1
ほとんど差がない場合	0
やや薄い場合 (やや勝る場合)	+1
明らかに薄い場合 (明らかに勝る場合)	+2

評価結果

組合せ		判定者 1	判定者 2	判定者 3
指標洗剤	供試洗剤			
B ₁	A ₁	+2	+2	+2
B ₂	A ₁	+2	+2	+2
B ₃	A ₁	+2	+2	+2
B ₁	A ₂	+2	+2	+2
B ₂	A ₂	+2	+2	+2
B ₃	A ₂	+2	+2	+2
B ₁	A ₃	+2	+2	+2
B ₂	A ₃	+2	+2	+2
B ₃	A ₃	+2	+2	+2

B_{1, 2, 3}: 指標洗剤によって繰返し実験を行なったそれぞれのモデル汚れ

A_{1, 2, 3}: 供試洗剤によって繰返し実験を行なったそれぞれのモデル汚れ

◆ 一次洗浄、繰返し洗浄のどちらも指標洗剤より優れた洗浄力です。

殺菌効力試験

一般細菌・大腸菌・O-157・サルモネラ菌・黄色ブドウ球菌・レジオネラ菌

検体中の菌数測定結果

試験菌名	区分	菌数 (/ ml)			
		原液 ¹⁾	5分後	30分後 ²⁾	60分後
一般細菌数	検液	2.8×10 ⁸	0	0	0
	対象 ²⁾	2.8×10 ¹¹	—	—	—
大腸菌	検液	1.5×10 ⁶	0	0	0
	対象 ²⁾	1.5×10 ⁸	—	—	—
黄色ブドウ球菌	検液	1.4×10 ⁹	0	0	0
	対象 ²⁾	1.4×10 ¹¹	—	—	—
サルモネラ	検液	5.3×10 ⁸	0	0	0
	対象 ²⁾	5.3×10 ¹⁰	—	—	—

備考 1) 菌株接種時の菌数。
2) 減菌ペプトン加生理食塩水中の菌数。

分析機関/財団法人 日本環境衛生センター

試験液に接種した試験菌の消長

試験菌	区分	生菌数 (/ ml)	
		開始時 ^{*1}	5分後 ^{*2}
大腸菌 (O157:H7)	試験液	2.5×10 ⁸	0
	対照	2.5×10 ⁸	2.5×10 ⁸

対照：精製水

*1 菌液接種直後の対照の菌数を開始時とした。

*2 保存温度：25℃

分析機関/財団法人 日本食品分析センター

検液中のレジオネラ属菌数測定結果

試験菌名	菌数 (CFU / 100ml)		
	原液	開始後(1分間以内)	5分後
レジオネラ属菌 (3群及び5群)	1.2×10 ⁸	1.0×10未満	1.0×10未満

備考 ※ 原液は、菌株接種時の菌数。
試料採取日(原液:平成9年3月17日、開始後(1分間以内):3月17日及び5分後:3月17日)
検査方法は、上水試験方法(厚生省生活衛生局水処理場部監修)に準拠して行った。

分析機関/財団法人 日本環境衛生センター

含有量試験

ノニルフェノール不検出

分析試験成績書 平成31年11月11日

依頼者: 株式会社 ノイロドシステムズ
 検体名: シロキウメイト
 検体事項: XXXXX

日本食品分析センター
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
 電話: 03-5561-3111 (受付) 03-5561-3112 (検体受付) 03-5561-3113 (検体回収) 03-5561-3114 (検体回収) 03-5561-3115 (検体回収) 03-5561-3116 (検体回収) 03-5561-3117 (検体回収) 03-5561-3118 (検体回収) 03-5561-3119 (検体回収) 03-5561-3120 (検体回収)

平成31年11月11日 日本食品分析センターにて検出されたノニルフェノールについて分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験項目	数量	検出限界値	分析結果
ノニルフェノール	検出せず	100μg	検出限界値以下に検出されず

以上

※本結果は検出された成分のみの結果です。C-検体をお送りください。
 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本食品分析センター

毒性試験結果

マウスを用いた急性経口毒性試験(限度) 20ml/Kg 以上

分析機関/財団法人 日本食品分析センター

体重変化

投与群	投与前	投与後	
		7日	14日
雄	試験群	28.3±1.0 (10)	33.9±1.8 (10)
	対照群	28.3±1.0 (10)	34.4±1.7 (10)
雌	試験群	24.9±1.3 (10)	28.6±1.4 (10)
	対照群	24.6±1.3 (10)	28.7±2.0 (10)

体重は平均値±標準偏差で表した(単位:g)。
 括弧内に動物数を示した。

生分解度試験

28日後の生分解度 93.6%

分析機関/財団法人、日本食品分析センター

試験区分

- 培養試験区 : 検体+活性汚泥+基礎培養基 (試行数: 2)
- 非培養試験区 : 検体+イオン交換水+殺菌剤
- 吸着試験区 : 検体+活性汚泥+基礎培養基+殺菌剤
- 基準試験区 : アニリン+活性汚泥+基礎培養基
- 植種ブランク : 活性汚泥+基礎培養基

生分解度

検体及び基準物質(アニリン)の生分解度を表-1に示した。検体の28日後の生分解度は93.6%であった。また、基準物質の生分解度が7日後で40%以上となり、本試験の成立が確認された。

表-1 生分解度測定結果^{※1}(単位: %)

試験区分	7日後	14日後	21日後	28日後	平均値
検 体					
培養試験区 1	<10	14.4	66.8	94.7	
培養試験区 2	<10	10.4	60.3	92.5	93.6
非培養試験区					
非培養試験区	<10	<10	<10	<10	—
吸着試験区					
吸着試験区	<10	<10	<10	<10	—
アニリン					
基準試験区	>90(99.5)	90(98.4)	—	—	—

※1 括弧内の値は算出結果をそのまま示した。

PPHS-18-04